

大町病院サポーターの会会報

No87

2022年1月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者降旗剛



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。ご家族の皆様と新年を迎えた事とお喜びを申し上げます。新型コロナウイルス感染症は2年過ぎても収束が見えず今度は変異ウイルス<オミクロン株>の感染が心配されます。昨年はコロナ禍の中事業計画は感染を避けるため屋外での環境整備のみ行い花植え・樹木の剪定には90名を超える参加をいただきました。

また、病院職員の皆さんはじめ大勢のみなさんにより駐車場のモミの木や階段等にイルミネーションの取り付けを行い12月10日に点灯式を行いました。

大町病院においては、昨年3月に井上院長が定年退職されました。25年にわたり大町病院に携わり院長8年・病院管理者6年と長きにわたり要職に就かれました。特に病院事業会計の赤字が続き、経営健全化計画に基づき業務改革や職員の給与削減等々の経営改善に取り組み、令和元年には黒字決算となり、病院運営に大きな功績を残していただきました。今も泌尿器科の外来診療にご活躍をされています。

後任に、藤本圭作新院長が就任されました。信州大学医学部教授をされていましたが、藤本

サポーターの会会長 降旗 剛

院長の呼吸器内科の専門を生かし月曜日に「いびき・居眠り」、金曜日に「せき・息切れ」の専門外来を新設し診療に当たられています。

また、大町市議会12月定例会の一般質問において、「病院が進むべき方向・目標は何か、新事業管理者の経営ビジョンは」との質問の中で、藤本院長が思う病院経営ビジョンを他誌で拝見し、とても素晴らしい考えを持っていると思い「積極的に院長が思う経営ビジョンを市民の皆さんにアピールが必要ではないか」と問われた。その後の質問に対しても慎重な答弁をしていました。今回本会議では院長が大町病院に対しての考え・経営方針のアピールをしっかりとできた事と思います。産科の分娩休止が今も続いています。今年4月頃の分娩再開を目指していると聞いていますが藤本院長には分娩再開に向けて全力で取り組んでいただくようお願いを申し上げます。

会員の皆さん、藤本院長をはじめとする病院の職員の皆さんが健康で良い年でありますようお祈りを申し上げます。

〈 医師、スタッフ増員で医療サービス充実をはかる 〉

大町病院サポーターの会の皆さん、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり有難うございました。クリスマスツリーの点灯式に大役を頂き光栄でした。私は点灯されたツリー等を見るのが初めてでしたがとても素晴らしく感動し子供に返った気分でした。

昨年は新型コロナウイルス感染対策と予防接種に追われる日々で、暗いニュースばかりでしたが、令和2年度の決算では新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金による、コロナ患者受け入れに対応した病床の確保などに係る経費補填などもあり、最終的に病院事業費は黒字の収支となりました。令和3年度は大町病院経営健全化計画の最終年度です。コロナ第5波の影響で落ち込んだ入院患者数、外来患者数は11月になり上向きとなり12月には病床稼働率も85%を超えるまで回復してきています。また、新型コロナウイルス感染症補助金もあり、黒字決算を予想し職員の給与削減期間は3か月前倒しとしました。

とても嬉しいこともありました。11月から産婦人科医師の高山俊弥先生、整形外科医師の金子稔先生が来ていただいたことです。高山先生は令和2年11月に休止した産科の再開に尽力したいと表明され、この1月から以前に師長として一緒に働いておられた助産師さんが着任され、今年10月からは若手の産婦人科医師も加わっていただける予定になっています。不採算部門ですが、大北地域の住民に周産期医療を提供することは必須だと思っています。また、整形外科

は伊藤先生に加えて二人体制となり、手術件数も伸びています。地域医療構想で北アルプス医療センターあづみ病院との機能分担もあ



りますが、当院は救急を受け入れ急性期医療を主におこなっていく病院であると認識しています。しかし、救急で来た患者を手術対応が出来ないからと言って全てあづみ病院に送るわけにはいきません。急性期対応への医師不足は解消する必要があります。4月からは総合診療科に感染症専門医で小児科も診れるという医師が、6月からはベテランの救急対応も出来る循環器専門医が着任する予定となっています。さらに活気あふれた病院になっていくことが期待されます。

経営健全化計画は終了しますが継続して取り組んでいく必要があります。また、当院の会議のあり方、構成を再編し、職員の皆さんが情報を共有し、議論し合って病院の運営を進めていきたいと考えており、4月からは新たな目標を定め、市立大町総合病院の経営を進めて参りたいと考えています。どうか今年も当院を支えていただければ幸いです。

信州大学医学部研修生を市内へ案内

12月13日、大町病院で研修している信州大学医学部5年生の細田啓介君（松本市出身）、山岸尚弘君（愛知県出身）、金子華さん（東京都出身）の3人を市内研修に案内した。

大町の文化・芸術水準の高さを見てもらうために、ギャラリーいづらで日展初出品、初入選した「千國由美、相沢まゆみ2人展」を見学、続いて仁科氏が築いてきた大町の歴史を知ってもらうためにパワースポットでもある仁科神明宮へ、塩の道千國街道を北上し、丹生子山城、丹生子関所跡、帯代3千両の道祖神を見、館ノ内を遠望、木船城入り口を通過し、明日香荘で昼食。鷹狩山で大町医療圏を確認、槍ヶ岳、燕から白岳までが大町市、守備範囲は白馬、小谷までと説明し、その広さに驚く。下って山岳博物館でライチョウとカモシカを見る。廃仏毀釈を知恵でしのいだ若一王子神社（殿裏側も）、木崎湖、中綱湖、青木湖を下道で1周し、矢野ワイナリーでご夫妻と対談、上原のサークルストーンを見、劇団四季倉庫群を見て大町病院へ帰還。



大町病院の感想

細田君 「大町病院の終末期の患者は患者であるのに明るく笑顔で話をする。大学病院の終末期患者は暗いが、衝撃的明るさだ。」

山岸君 「大町病院は波田病院と似ている。高齢者が多い病院です。」

金子さん 「東京とは比べ物にならない。大町病院の患者は90代の入院している患者でも回復後は退院して行って、働くかのように元気だ。」

1月17日にも研修生がサポーターの会の案内で市内見学



今回は雪降りの中、信州大学医学生半沢拳君（神奈川県出身）と小林直輔君（栃木県出身）の2人と降籬剛会長が同行をして、仁科神明宮・大峰の大カエデ・八坂・美麻地区などを回り、冬の大町の紹介を行いました。研修の中で大町病院をどう感じるか聞いてみました。「病院内で皆さんが挨拶をしてくれるので親近感を感じた。他の病院ではあまり感じなかった。そして講師の先生方も忙しい中色々な研修を考えてくれる。」と話してくれました。

イルミネーション点灯・コンサートも実施

12月10日午後5時30分より病院駐車場のもみの木（25m）にセットされたイルミネーションが牛越徹病院開設者、藤本圭作事業管理者・病院長、降籬剛サポーターの会会長により点灯されました。13,000球のイルミネーションはなかなか見ごたえのあるものです。この日は病院内に入院している患者にも見てもらえるように職員がセットし、オンラインによりラウンジまで放映がされました。3月中旬まで楽しめます。

この日は晴れ上がり寒い夕方となりましたが市民、サポーターの会役員、病院職員など50人近くが集まり盛大に行われました。点灯式に続き野外でのコンサートが開かれ、病院職員で構成されるウクレレ部の皆さんによる演奏がありました。曲目は諸人こぞりて、クリスマスメドレー、信濃の国 出演 大町病院ウクレレ部 鳥居旬先生 福島愛 牧瀬明美 根本薫 櫻井きよみ 花澤さとみ 中山あすか 吉田由美子と子どもたちの皆さんでした。



無事イルミネーション設営

11月28日午前9時から3時間かけて、病院駐車場にそびえているもみの木をはじめスロープと手すり及び立ち木にイルミネーションのラインを設置しました。高所作業車によるもみの木先端への星形の設置や階段へのアーチなど、イルミネーションのポイントとなるところを、しっかりと飾り付けました。参加者は13人でした。ご苦労様でした。

ミニ菜園改修計画進む

これまでキュウリやトマトを作ってきた、南病棟「さくら」入り口にあるミニ菜園を改修します。

これはこれまで様々な植物や花を市民の寄贈で植えてきましたが、入院患者などが車椅子で散策するときの安全のためコンクリート部分の拡幅や花壇管理上のしやすさを図るものです。

設計・施工はサポーターの会団体委員の峯村組に依頼し、コンクリートブロックなどの設置は病院ガーデン部の先生や看護師、検査技師などコメディカルの皆さんが自分たちの力で作ることになります。来春までに完成させる計画です。



野菜、コシヒカリなど差し入れ相次ぐ



キャベツを召し上がれ

7月に引き続き10月22日、秋野菜の代表格であるキャベツ30個を差し入れしました。「初秋」という種類の柔らかなものです。

白菜はいかがですか

11月1日、白菜30個を差し入れしました。順調に生育したのですが防虫ネットを外したところへ葉虫がついてしまい外側の葉がダメになってしまいました。それを除いたため白菜の玉は少し小さくなってしまいました。



コシヒカリ 50 kgを贈呈しました



12月20日、降籬剛会長は丹精込めて作ったコシヒカリ50kgを、医局などへ差し入れしました。



干し柿はいかがですか

1月6日、医局などへ干し柿340個を差し入れしました。今年
は柿の実が成らない年だったため、柿を探し求めて作ったものです。
皮をむき、つるし、乾かす。そして手もみする。手間が掛かってます。



幹事会で10割そば懇親会開く



1月28日夕方、降籬剛会長が作った八坂産のそば粉を使ったそばで、役員懇親会が松崎公民館で開かれました。13人が参加し粉で4kgのそばを食べました。プロが打った10割そばで、お替りしながらおいしくいただきました。コロナ禍で交流会がなかなかできない中、タイミングを見計らった開催でした。

会費納入ありがとうございました

令和4年1月21日現在

個人会費 (順不同敬称略)

松澤貞一 黒岩徹 興国和美 丸山優一 傳刀仁美 小林由美枝 倉科里香 伊藤希 西澤良忠
坂井てるみ 新津義文 田中知子 井沢純子 高木哲 栗林幸子 深井康臣 関口健二 金子一明
西澤くみ子 堀田明恵 本山朋子 松尾忠久 太田美知子 高木教男 真島康 神社正幸 川合由岐子
小林真奈美 横川仁 吉岡綾香 山口倫子 藤川明夫 小林治男 松山玉江 水久保節 内川篤
遠藤幸廣 高橋鴻生 丸山典生 鷹巣守 高橋功 西澤運之 北沢久男 中島喜一 平林操 南澤靖
太田光春 沢渡勇治 柏原一美 傘木覚 五味幸子 北野憲雄

団体会費 地場の郷 斉藤自動車